

HiKOKI

取扱説明書

用途

- 小ねじ・木ねじなどの締付け、取りはずし
- 木材の穴あけ

コードレスドライバドリル

10.8 V DB 10DL [無段変速]

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意…	1
本製品の使用上のご注意……………	5
リチウムイオン電池の使用上のご注意…	6
各部の名称……………	8
仕様……………	9
各種先端工具のご紹介……………	10

使い方

基本機能について……………	11
充電する……………	13
ねじを締める / はずす……………	15
穴をあける……………	17
使いこなすコツ……………	19

その他

保守・点検……………	20
ご修理のときは……………	裏表紙

警告、 注意、 注 の意味について

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 **注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。

指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。

異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 充電器の使用温度範囲外では、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。

また、破裂や火災の恐れがあります。

- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。

- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。

釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

⚠ 警告

- ④ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂の恐れがあります。
- ⑤ **感電に注意してください。**
ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。
- ⑥ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑦ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ⑧ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑨ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検・修理する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑪ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。
- ⑫ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業者以外、コードレス工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
 - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
 - 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネckレスなどの装身具は、着用しないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ **充電器のコードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って充電器を運んだり、コードを引いてコンセントから抜いたりしないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ⑧ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。
- ⑨ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
 - 充電器を使用する前に、電源プラグやコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。**
屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 落下など、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスドライバドリルについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。
埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリル（錐）などの回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- ④ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑤ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑥ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① 工具類（ビットやドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後のドリル（錐）や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
やけどの原因になります。

⚠注意

- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径のドリル（錐）は折れやすいので注意してください。
飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 機体で材料をたたく、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすことなどをしないでください。
内蔵している精密部品が破損し、誤作動等をおこす原因になります。
- ⑦ ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
- ⑧ 蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑨ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ⑩ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑪ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 工具本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

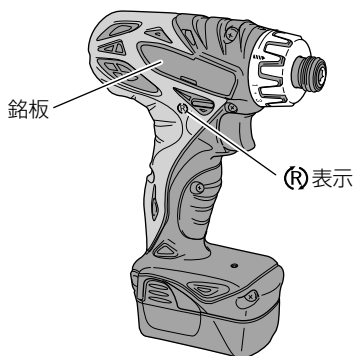
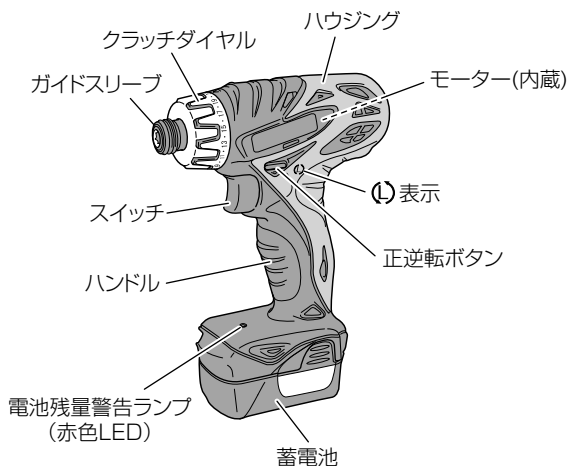
蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

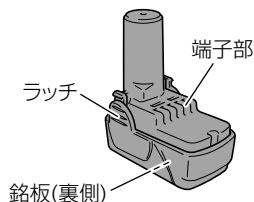


各部の名称

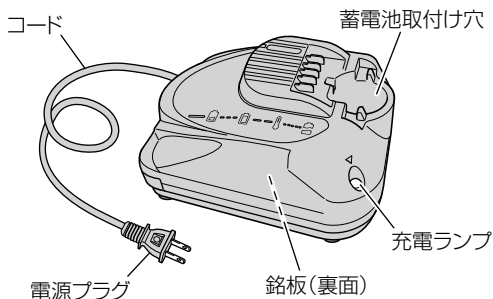
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	仕様	2LMSK	NN
蓄電池	BCL 1030C	2 個 (本体装着 1、予備 1)	—
充電器	UC 10SL2	1 台	—
収納ケース		1 個	—

仕 様

1. 工具本体

形 名		DB 10DL
能力	穴 あ け	木材：直径 18 mm
	ね じ 締 め	小ねじ：6 mm 木ねじ（下穴あり）：呼び径 6 mm × 長さ 38 mm
締 付 け トルク	1	約 1.0 N・m {10 kgf・cm}
	5	約 2.0 N・m {20 kgf・cm}
	9	約 3.0 N・m {30 kgf・cm}
	13	約 4.0 N・m {40 kgf・cm}
	17	約 5.0 N・m {50 kgf・cm}
	21	約 6.0 N・m {60 kgf・cm}
	＜□□□□＞	約 20 N・m {204 kgf・cm}
無 負 荷 回 転 数 [気温 20℃ 満充電時]		0 ~ 400 min ⁻¹ {回 / 分}
モ ー タ ー		直流モーター
先 端 形 状		二面幅 6.35 ビット挿入形状
使用可能蓄電池		リチウムイオン電池 10.8 V (BCL 10xx シリーズ)
工 具 本 体 寸 法 全長×全高×全幅		147 mm × 197 mm × 48 mm (BCL 1030C 装着時)
質 量		0.9 kg (BCL 1030C 装着時)
LED ラ イ ト		白色 LED
残量警告ランプ		赤色 LED

2. 蓄電池

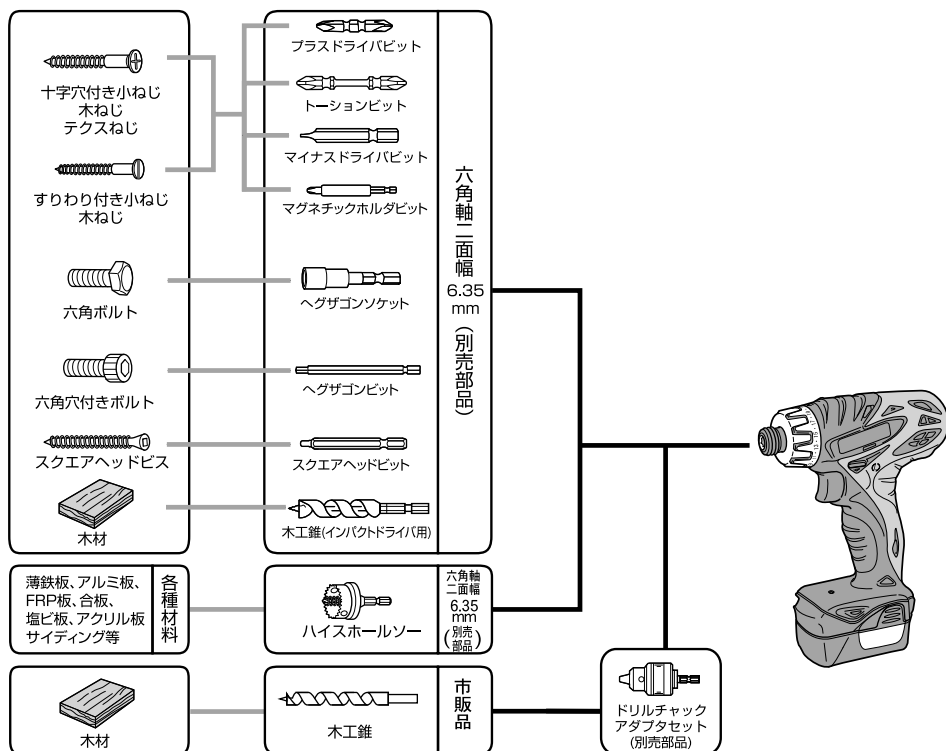
形 名	BCL 1030C
種 類	円筒密閉形 リチウムイオン電池
電 池 電 圧	10.8 V
容 量	3.0 Ah
冷 却	非対応

3. 充電器

形 名	UC 10SL2	
入 力 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V	
充 電 時 間 [気温 20℃時]	BCL 1030M BCL 1030 BCL 1030C	約 60 分
	BCL 1015	約 30 分
	BCL 1015S	約 25 分
充 電 電 圧	10.8 V	
充 電 電 流	3.0 A	
コ ー ド	2 心ビニールコード	
質 量	0.35 kg	
使用温度範囲	0℃ ~ 40℃	
充 電 ラ ン プ	赤色 LED	

各種先端工具のご紹介

用途に応じた先端工具（アタッチメント）をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



●S タイプビットの取付け方

弊社指定のビットのサイズはL タイプです。S タイプのビットを取付ける場合はビットピース（別売部品）が必要です。下表の手順で確実に取付けてください。

S タイプのビットのサイズ	ビットの取付け方
	ガイドスリーブを先端側に引いて、ビットピース、ビットの順で六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。 ①引く ← ガイドスリーブ → ③はなす ②入れる Sタイプビット (市販品) ビットピース (別売部品) 六角穴

注 ●ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。

●ビットピースを取付けずにSタイプビットを使用すると、作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

基本機能について

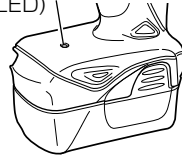
●電池残量警告ランプについて

スイッチを引くと、蓄電池の残量を確認できます。

蓄電池の残量が少なくなると、警告ランプ(赤色LED)が点灯します。

このときは、速やかに電池を充電してください。

電池残量警告ランプ
(赤色LED)



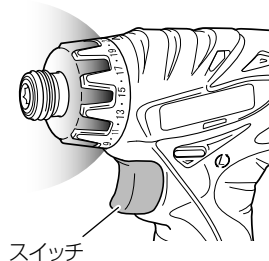
- 注**
- 電池残量警告ランプが点灯するタイミングは、使用環境や蓄電池の状態により変化します。充電するときの目安としてお使いください。
 - 作業中に電池残量警告ランプが点灯する場合があります。これは一時的に電池電圧が低下したことによるものであり、電池残量が低下したことによるものではありません。
 - 蓄電池の残量確認は空回ししながら行ってください。

●LED ライトの使い方

スイッチを引いている間、自動的にLEDライトが工具先端部を照らします。

わずかにスイッチを引くことにより、先端工具を回転させることなく、LEDライトを点灯でき、暗い場所での作業時に便利です。

- 注**
- わずかにスイッチを引いて、LEDライトを点灯させたとき、「ピー」と音がしますが、モーターのうなり音であり、故障ではありません。
 - LEDライトは蓄電池電圧が低下すると自動で消灯するようになっています。
そのような場合は使用をいったん中止し、蓄電池を充電してください。



●スイッチで回転数を微調整

スイッチの引き込み量で無段階に回転数が変わります。ねじ締め開始時や、穴あけのセンター決め時にはスイッチを少し引いてゆっくりスタートしてお使いください。また、スイッチをはなすとブレーキがかかり、すぐに止まります。

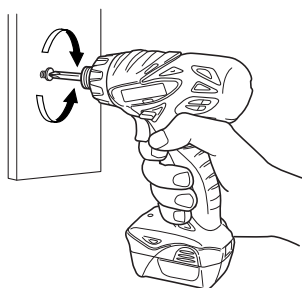
●手回しドライバとしての使い方

手回しドライバとしても使える手締め機能が付いています。スイッチを切り、機体を手で回してください。

締付け確認や不意な電池切れの際に便利です。

注 無理な締付けや、さびついたねじの無理な取りはずし、締まりすぎたねじの無理なゆるめなどはしないでください。

故障の原因になります。



●締付け作業上のご注意

●連続作業について

連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に工具本体を15分程度休ませてからご使用ください。蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●変速スイッチについて

スイッチには回転数を無段階に変速する電子回路が内蔵されています。スイッチの引き込み量が少ない状態（低速回転域）で、モーターを停止させるねじ締め作業を連続に行うと電子回路部品の温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

ねじやボルトに対してまっすぐになるように、機体を両手で確実に保持してください。

また、先端工具を必要以上に押し付ける必要はありません。先端工具にこじる力や押し付ける力が過度にかかる、機体が故障する原因になりますのでご注意ください。

充電する

ご使用前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

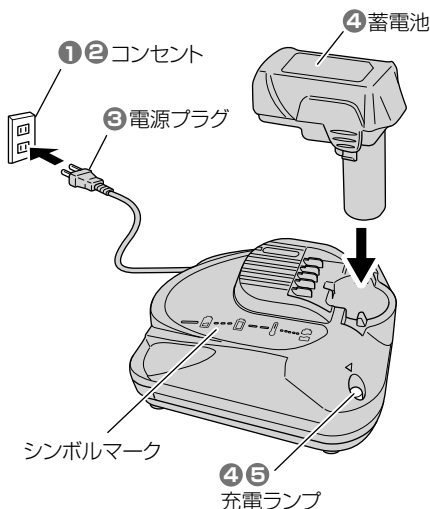
⚠ 警告

手順①、②については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

充電時間

BCL 1030C : 約 60 分

注 充電時間は使用環境や蓄電池の状態により長くなることがあります。



1

電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。
200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

2

コンセントを確認する

コンセントがガタついていたたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないください。
そのまま使用すると危険です。

3

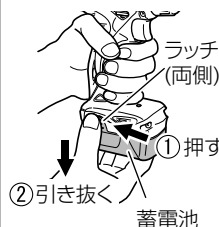
電源プラグをコンセントにさし込む

充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P.14「充電ランプの表示について」参照)

4

蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



- 蓄電池を上の方の図に示す向きで、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込みます。
- 充電を開始し、充電ランプが点灯します。

5

充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電ランプが赤の点滅を繰り返します。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を取りはずしてください。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電状態を表示する「充電ランプ」が付いています。
ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプの表示		本体 シンボルマーク	表示内容
点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		電源にさし込んだ状態 (蓄電池がさし込まれていない)
点 灯	連 続 点 灯 		充電中
点 滅	0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		充電完了
遅い点滅	1 秒点灯 / 0.5 秒消灯 		蓄電池の温度が高くて充電できない。 (温度が下がると自動的に充電を開始します。)
速い点滅	0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯 		充電器または蓄電池に異常あり

注 ●充電ランプが速い点滅(0.1 秒点灯/0.1 秒消灯)を繰り返すときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。

異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。

●電源プラグをコンセントにさし込んでも充電ランプが点滅しない場合、充電器の保護回路が作動している可能性があります。

電源から取りはずして約 30 秒後、再度電源につないでください。

それでも充電ランプが点滅しない場合、お買い求めの販売店にご持参ください。

●一度充電が完了した後、次の充電まで 15 分程度休ませてください。

同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。

●コードレス工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。

すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。

●コードレス工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。

無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。

●正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命が尽きたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。

寿命の尽きた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

○新しい蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

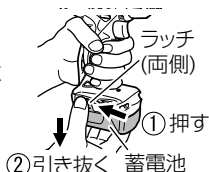
ねじを締める / はずす

小ねじ・木ねじなどの
締付け、取りはずし

1

蓄電池を取りはずす

誤作動防止のため、
蓄電池を工具体より
抜いてください。



5

蓄電池を取付ける

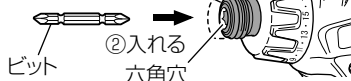
右図の向きで、「カチッ」
と音がするまで、しっか
りと押し込んでください。



2

ビットを取付ける

① 引く ← ガイド
スリーブ → ③ はなす



6

作業を開始する前に、 右ページの

ねじ締め作業のコツ
を読んでください。

3

クラッチダイヤルの目盛り を合わせる

右ページの

締付けトルクの調整

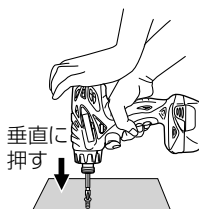
を読んでください。



7

スイッチを入れる

- ビットの先をねじ
頭部の溝に当て、
スイッチレバーを
引きます。
- ねじの頭からビット
がはずれない
程度の力で押し
付けます。

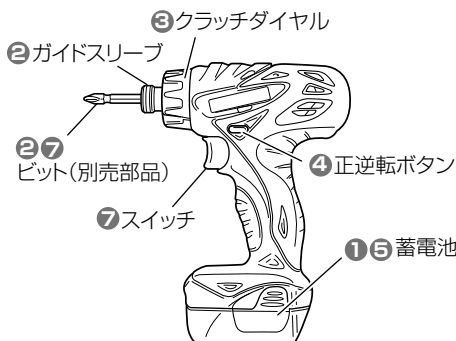


4

回転方向を合わせる



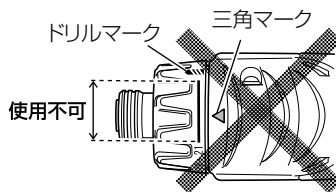
- 正逆転ボタンを押して、ねじの締付け
方向に合わせます。
- 中間の位置ではスイッチが入りません
ので、しっかり押し込んでください。



●締付けトルクの調整

- 目盛り数値が大きくなるほど大きな力でねじ締め（またはねじはずし）ができます。必要以上に力がかかると、クラッチが作動して（カチャカチャと音がする）ねじの締めすぎを防止します。三角マークと目盛り「1～21」または黒丸、ドリルマーク「」が合うようにクラッチダイヤルを回します。
- ねじの締めすぎのない作業を行うには、目盛りの数値を小さい方から少しずつ大きくして、締付け具合を確認しながら行ってください。

注 三角マークが「21」とドリルマーク「」の間に位置した状態では、使用しないでください。故障の原因になります。



目盛り	1・3・5・7・9・11・13・15・17・19・21					
作業の目安	小ねじの締付けや、 やわらかい木材	←		→	かたい木材	使用不可 太い木ねじ

●ねじ締め作業のコツ

⚠警告

- ビットの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具体から取りはずしてください。
- 加工する物はしっかりと固定してください。
- 使用中に異常音や異常振動などの異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- ねじをはずすときは正逆転ボタンを①側から押してスイッチを入れてください。
- ねじを傷めないコツ
機体後方から軽く荷重をかけながらねじ締め（またはねじはずし）すると、ねじの頭を傷めずに行えます。

⚠注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にしないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビット、ガイドスリーブは高温になっているので触れないでください。
- 下穴をあけずに、直接木材に木ねじを締めるときは、金づち等で軽く木ねじを木材に打ちつけてから、締付けるとねじがグラつかずスムーズな作業ができます。
- ねじの径より少し細いドリルで下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がしやすくなります。下表を参考にしてください。

木ねじ呼び径 (mm)	3.1	3.5	3.8	4.1	4.5	4.8	5.1	5.5
下穴径 (mm)	2.0	2.2	2.5	2.9	3.3	3.6	3.9	4.3
	2.2	2.5	2.8	3.2	3.6	3.9	4.2	4.6

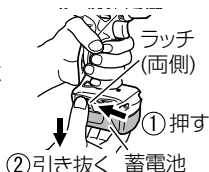
穴をあける

木材の穴あけ

1

蓄電池を取りはずす

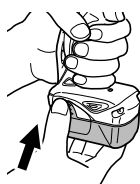
誤作動防止のため、蓄電池を工具体より抜いてください。



5

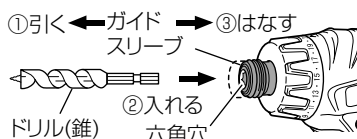
蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



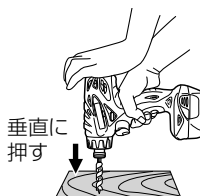
2

ドリル(錐)を取付ける



6

スイッチを入れる



(P.18「木材にきれいな穴をあける」参照)

3

クラッチダイヤルをドリルマーク△□□□に合わせる

右ページの

穴あけ時のクラッチダイヤルについて

を読んでください。

7

材料からドリル(錐)を抜く

スイッチを入れたまま(回転したまま)、ドリル(錐)を引き抜いてください。

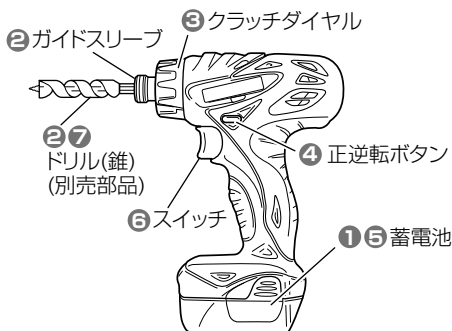
または、いったんスイッチを切り、正逆転ボタンを逆回転Ⓔ側から押し、再度スイッチを入れて引き抜いてください。

4

回転方向を合わせる



- 正逆転ボタンを正転Ⓔ側から押してください。
- 中間の位置ではスイッチが入りませんので、しっかり押し込んでください。

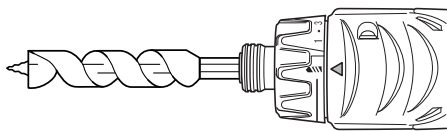


⚠ 警告

- ドリル（錐）の取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
- 加工する物はしっかりと固定してください。
- 使用中に異常音や異常振動などの異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

● 穴あけ時のクラッチダイヤルについて

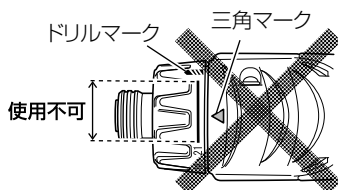
ドリル（錐）として木材に穴あけする場合は、ドリルマーク「」を三角マークに合わせます。



注 • ドリルマーク「」でご利用の際、モーターの回転が停止する場合がありますが、数秒間停止を続けないようにお使いください。

モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく低下させる原因になります。

- 三角マークが「21」とドリルマーク「」の間に位置した状態では、使用しないでください。故障の原因になります。



⚠ 注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- 穴あけ直後のドリル（錐）、ガイドスリーブは高温になっているので触らないでください。

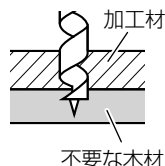
注 ドリル（錐）を取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ドリル（錐）が六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。

作業中にドリル（錐）が抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

● 木材にきれいな穴をあける

不用な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

木工錐が裏側へ突き抜けるときに発生するバリを防ぐことができます。



（または）

木工錐の先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける



使いこなすコツ

●ねじ締め作業が可能な範囲

材料の種類、かたさなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作 業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
ね じ 締 め	1 ～ 21	ねじ径 6 mm	ねじ径に合ったビットをご使用ください。
木ねじ締め	1 ～ 	呼び径 6 mm × 長さ 38 mm	下穴をあけて作業してください。

注 締付けねじに合わせてクラッチダイヤルを回し、締付けトルクを調整してください。

締付けトルクが強すぎるとねじが切れたり、ねじ頭を傷めます。

●ねじが締付けられる数は

1 充電当たりの作業量の目安を示します。

(作業量は、使用環境、材料の種類、かたさなどにより異なりますので、目安とお考えください)

作 業	内 容	締付けられる数
ね じ 締 め	呼び径 6 mm × 長さ 38 mm (木ねじ・米松材)	約 280 本 (BCL 1030C 使用時) 約 140 本 (BCL 1015 使用時)

●穴あけ作業が可能な範囲

材料の種類、かたさなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作 業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
穴 あ け		木材：錐径 18 mm (板厚 18 mm)	モーターの回転を停止させないようご使用ください。

●穴があけられる数は

1 充電当たりの作業量の目安を示します。

(作業量は、使用環境、材料の種類、かたさ、ドリル (錐) の切れ味などにより異なりますので、目安とお考えください)

作 業	内 容	穴があけられる数
木材への穴あけ	錐径 18 mm × 厚さ 18 mm (木材)	約 280 個 (BCL 1030C 使用時) 約 140 個 (BCL 1015 使用時)

保守・点検

⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ドリル(錐)、ドライバビットの点検

先端部が摩耗したり折損したドリル(錐)やドライバビットを使用すると、モーターに無理をかけ、能率が落ちたりねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布を良く絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
 - 軒先など雨がかかる場所、湿気のある場所
 - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

● リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠ 警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

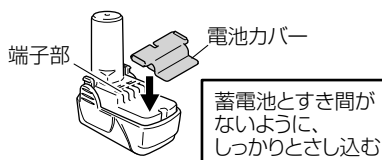


● リチウムイオン電池の保管について

⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、満充電にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3 か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を 2 ～ 5 回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命が尽きたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00～12:00, 13:00～17:00	
●フリーダイヤル  0120-20-8822	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認
いただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>